





自分で言うのもあれだが……

俺はこの1年間で真面目に生活してきたと思う。



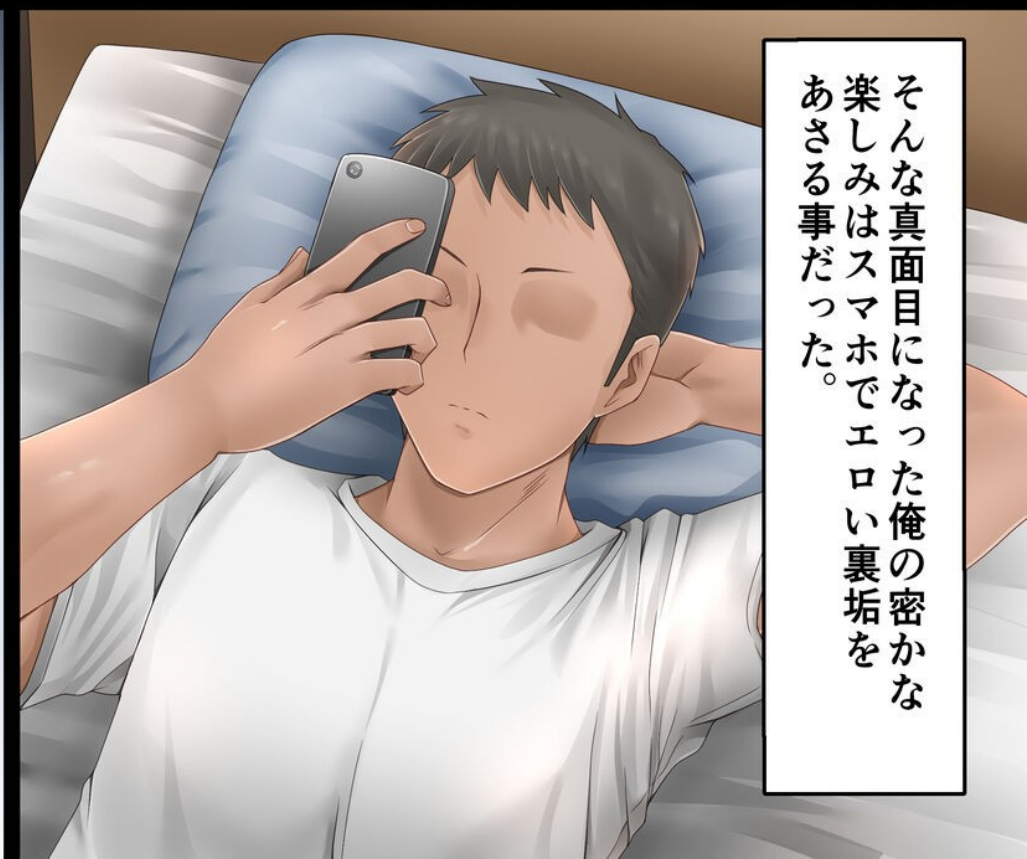
前の職場を奔放な女性関係が原因で首になってしまった。

新卒からずっと働いてきた職場をクビになったのはさすがにショックでその後は自分でも驚くほど清く正しい生活を送っていた……



そこで見つけたあるアカウントに俺は夢中になってしまった。

ん？これは……



そんな真面目になった俺の密かな楽しみはスマホでエロい裏垢をあさる事だった。

一見すればどこにでもありそうな人妻の火遊び用の裏アカウント……

しかし彼女が裏垢に投稿する誘うような自撮りの数々に俺はどんどん夢中になっていった。

彼女が写真をあげると俺はすぐにいいねを押して拡散する……

一年以上、女性と無縁な生活を送っていたせいか彼女への依存と執着が俺の中で次第に大きくなっていくのを感じていた。

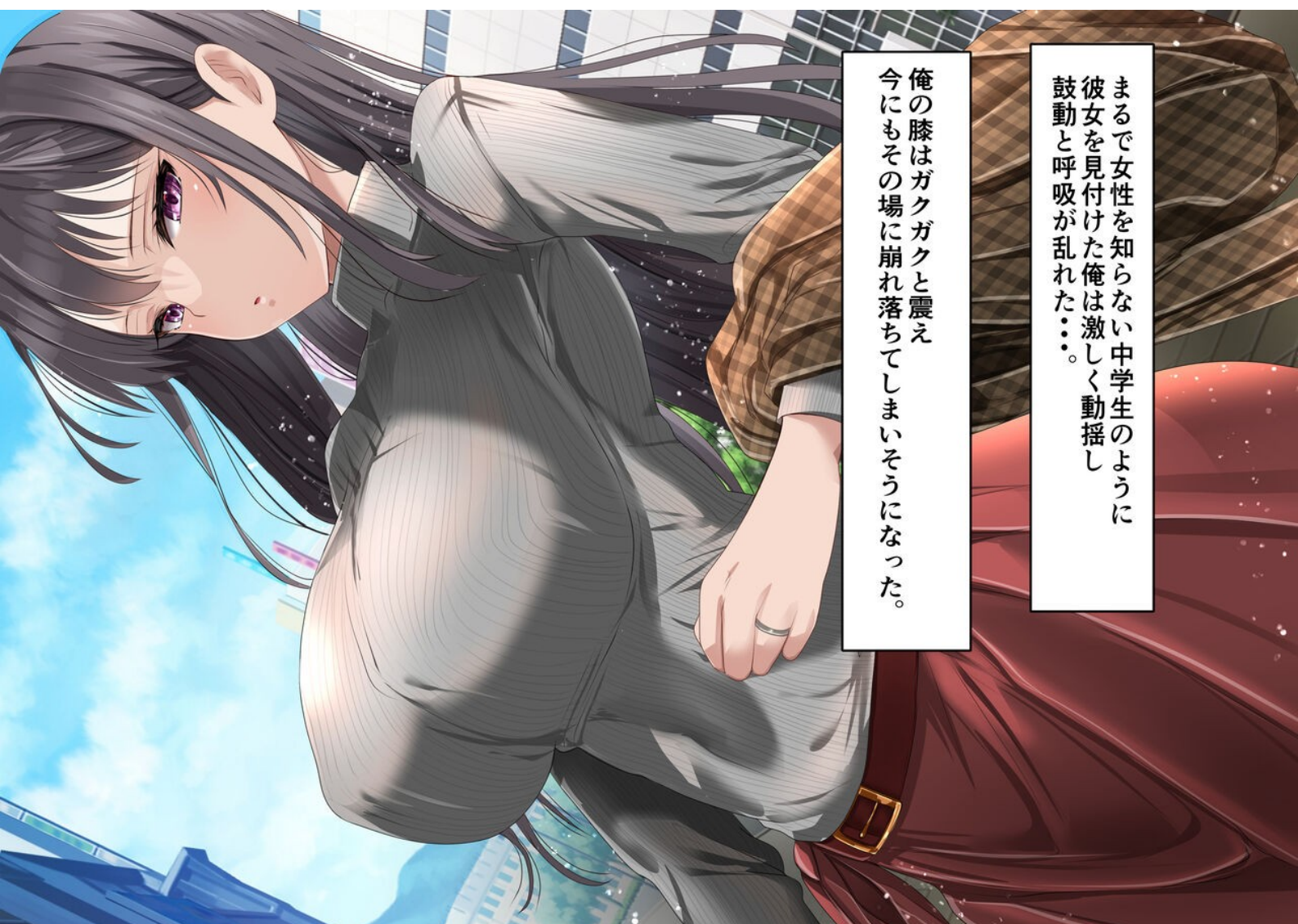
そんなある日俺に奇跡が訪れた……

キラ...




雑踏の中でもひとときわ目立つ  
綺麗なロングヘアのシルエット……。

俺から毎晩、精を搾り取った  
被写体が颯爽と俺の前を通り過ぎた。



まるで女性を知らない中学生のように  
彼女を見付けた俺は激しく動揺し  
鼓動と呼吸が乱れた…。

俺の膝はガクガクと震え  
今にもその場に崩れ落ちてしまいそうになった。



散々、スマホの画面越しに夢中になった  
彼女の豊かな乳房、あそこの形は  
服ごしでも有り有りといメージできた。

正直、この後の俺の行動は明らかに  
常軌を逸脱していたと思う……。



俺の存在に気づいていない彼女を尾行し  
住居を特定した後、迷わず仕事を辞めて  
彼女と同じマンションに引っ越したのだ。



その理由はたったひとつ。  
俺を夢中にさせたこの女を  
手に入れるためだった。。。



SNSで裏垢特定した人妻をハメまくった話!

彼女の名前は  
「桐敷瑠衣(きりしきるい)」

毎朝夫と子供を送り出した後、  
週に2回プールか街中でのランニングで  
汗を流している。

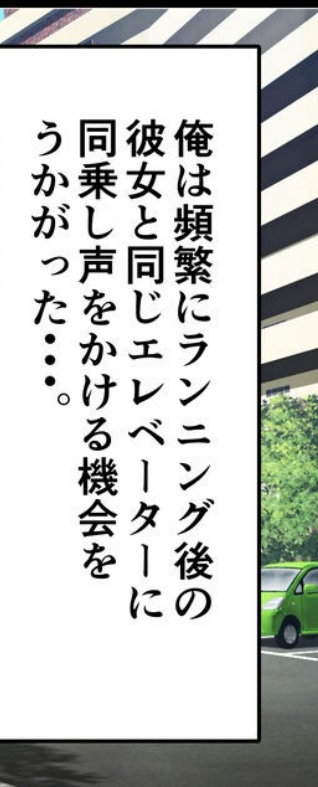
ただ、プールは思いのほか  
人通りが多く声をかける  
タイミングが見つからない。


俺は頻繁にランニング後の  
彼女と同じエレベーターに  
同乗し声をかける機会を  
うかがった……。

ハア

ハア

ハア





ランニングを終えた彼女と同じ  
エレベーター内に入ると  
狭い室内いっぱい彼女の匂いが充満する。

女性として良い香りだけでなく  
彼女の首すじ・脇・胸・あそこから  
汗と共に漂ってくる雌のフェロモンが  
どうしようもなく俺を興奮させた……

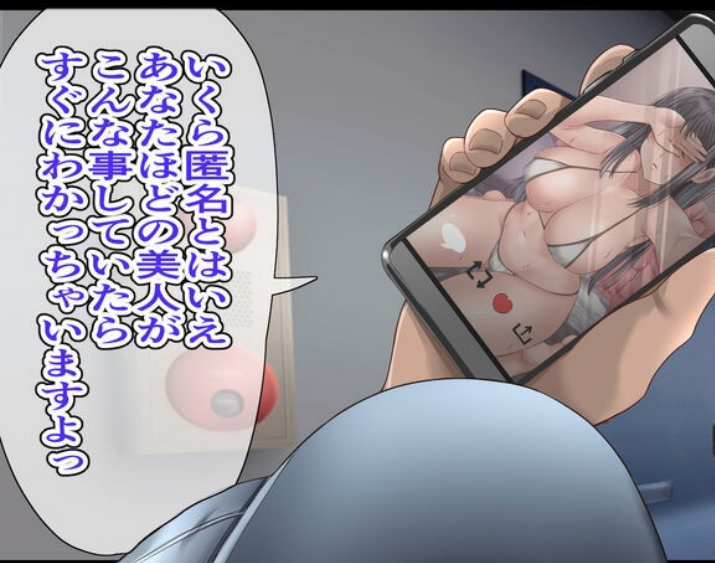
すでに複数回、彼女とエレベーターで  
同席しているがいつも邪魔が入り  
声をかけるタイミングが無かった。

しかし今、このエレベーターには  
彼女と俺以外は誰も乗っていない。

彼女の胸の感触……っ  
あそこの匂い……っ  
汗と唾液の味まで  
彼女の全てを味わいたいっ。

俺の溜まりに溜まった性欲は  
もう限界値を超えていた。

俺は今日、今から、  
彼女を追いかけて  
声を掛けることに決めた。



桐敷さん……  
俺が何を希望しているか  
理解されていますか？

そう言うとな彼女は全てを悟ったような……  
あきらめた表情を浮かべ  
何も言わずにその豊満な肉体を  
俺の前にさらけ出した。

彼女がその肢体をさらすと  
玄関に彼女の汗と女性の匂いが充満し  
俺にほんの少し残っていた理性を  
あっという間に吹き飛ばした。

邪魔するものはもう何もない。  
なんのためらいもなく  
俺は彼女に襲いかかった。



まぢぢ  
つよよ、  
てつと  
。。。。

ぢぢ  
やる。。。。

ぢぢ

ぢぢ

は

は

ぢぢ

は

ゆもも、  
つとつと、  
。。。。

ぢぢ

ぢぢ

ぢぢ



俺に乱暴につままれて  
赤く腫れあがった乳首……。

唾液で汚れた唇……。

彼女の苦悶に満ちた表情の全てが  
俺の嗜虐心を刺激し  
さらなる暴走へと駆り立てた。

気づけば俺は  
彼女の意志などお構いなしに  
いきり立ったペニスを彼女の前に  
さらけ出していた。





それじゃあ……  
フェラでも  
してもらえますか？

メッ

ビクッ



フェラ、フェラ  
しますから……  
ここで……

は……

は……

ぬる

これで……  
許してください……

は……



彼女の口腔内はねっとりとした濃厚な生クリームのような感触で俺のペニスを温かく包み込んだ。



ぴったりと密着した舌先は  
前後運動のたびに根元から裏筋、  
亀頭の先端まで舐めあげられ  
あつという間に射精感が高まってきた...

さすがの人妻テクニクだった。







彼女は喉奥に大量の精液を放出され  
まるで嘔吐でもしたかのように吐き出していた。

だが、俺のペニスは硬く勃起したままだった。

彼女の膈内に挿入したいっ

彼女の膈内の粘膜にペニスをこすりつけ、  
彼女の子宮に大量射精したいという  
強い衝動だけが俺の頭を支配していた。



はっ

はっ

はあ

はー

出クッ

はあ

はあ

どろろおー

は

はあはあはあ



いい

えっ!?

セクッ



はあ

ぷるぷるぷる

げほっ

セクッ

げほっ

はあ

げほっ

はあ



は...

びびる

びびる

だめっだめっ

だめですっ

ぐちゃ...

は...

は...



は...

それだけっ

ちよっ  
ちよっ  
ちよっ  
とまっ  
て...

ブルブル

は...

は...



ギョウウウッ

ゴロツ

セクッ

セクッ

ズンッ

だめえ...っ!

ああ...っ

はあ

はあ

はあ

あんなに...  
あんなに...  
あんなに...  
あんなに...  
あんなに...  
あんなに...  
あんなに...  
あんなに...

ズンッ

はあ

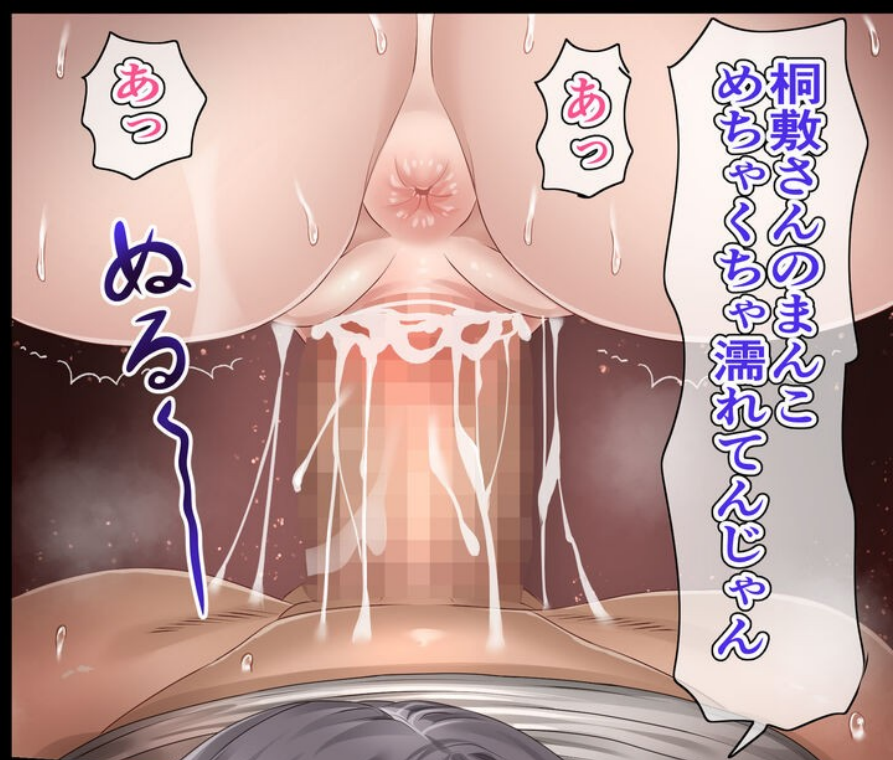
ああ...っ

はあ

セクッ



実はフェラしてた時から感じてたんじゃないの？



桐敷さんのまんこめちやくちや濡れてんじやん



そんな事言っつてw  
ちんこ出し入れするたびに  
まんこビクビクしてんじやん

いか、感じてなんか  
いません。。。っ

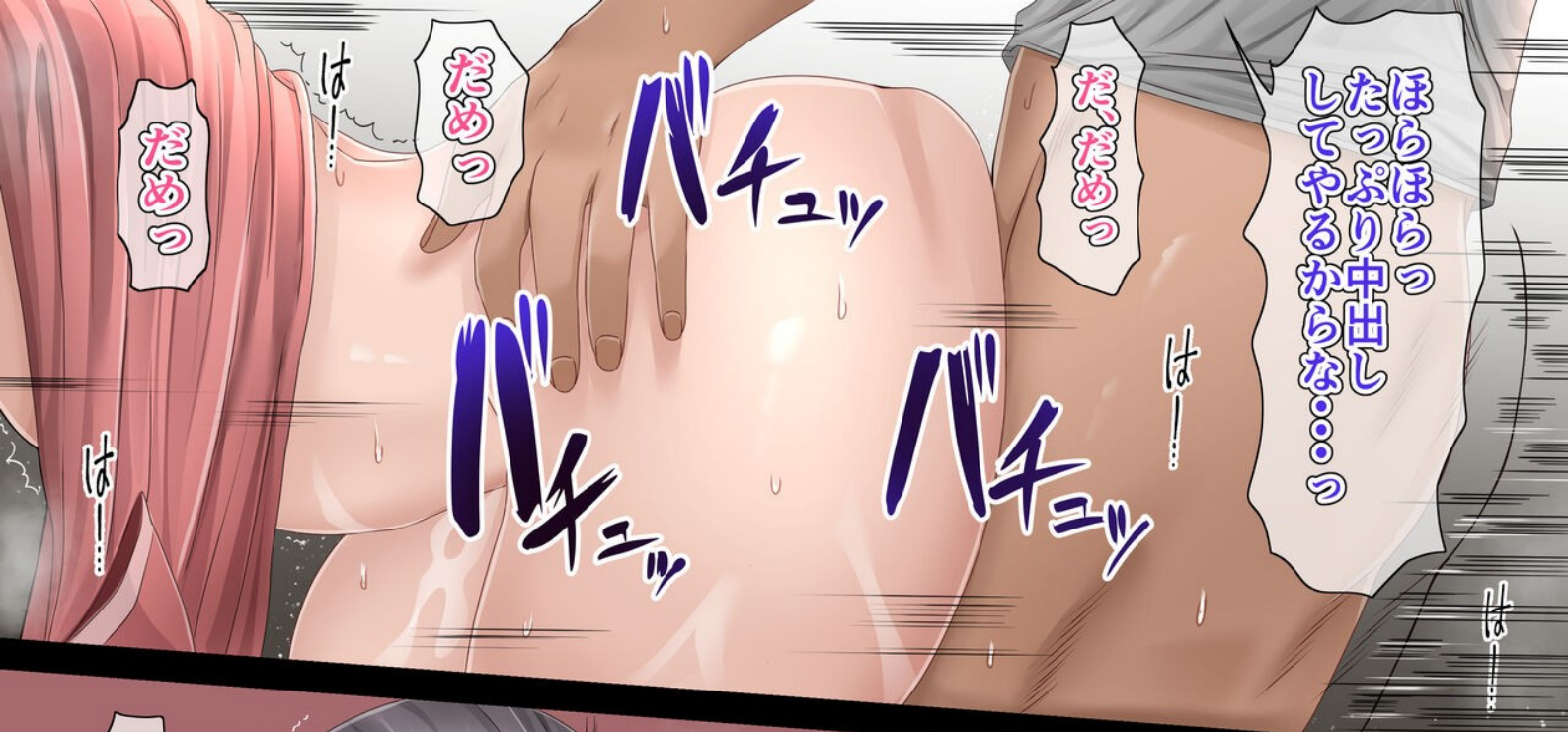
はっ

はっ

びっ







ほらほらっ  
たっぷり中出し  
してやるからな……っ

だだめっ

だめっ

だめっ

バチュッ

バチュッ



だめえ……っ

ああっ  
あああああっ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

ああっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ





ずるん

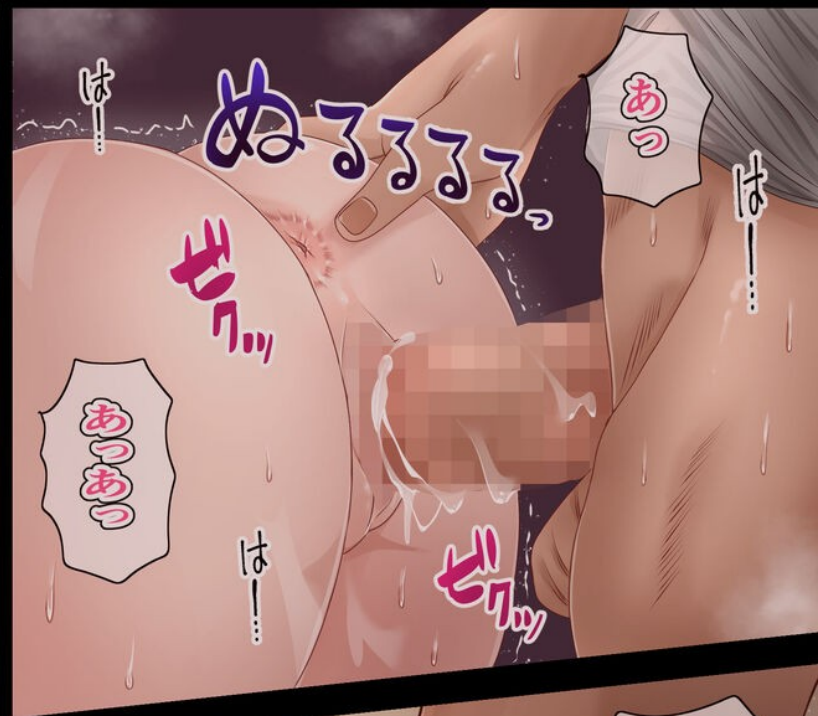
は

ピクピク

は

ひっ

は



は

ぬるるるる

あ

は

せろ

あ

は

せろ



これ、お願いです...  
これで最後に...  
は

う

は

う

いやー...出た出たっ  
人生で一番射精したわっ  
は

パイパイ...

は

さ、最後に  
して下さる...  
は

は







遊び心で作った  
アカウントでまさか  
あんな事になるなんて……

昨日ほとんど知らない  
男の人に身体を  
許してしまった……



どうやらもう  
どうやらもう……



大丈夫なはず……



でもアカウントは  
削除したし  
もう大丈夫……

どうやらもう  
どうやらもう……

どうやらもう  
どうやらもう……



だめ……  
逃げられない……

ア、アカウントはもう  
削除しましたから……

えーつれないなあ

やめて下さい……

あーあれねっ  
もってるバツアップ  
とつてあるからっ



キヤ

やあ桐敷さんっ

今から桐敷さんの所に行こう  
と思うってたんだっ

ガバッ





ひっ

ビクッ

ぬちゃ

あっ

よ、余計な……っ  
お世話ですっ

ぬちゃ

は……



はっ

ビクッ



あっ

は……

ど、どうして……っ  
私のおそこばっか  
いじるんですか……っ

はっ

いやあこの前は  
俺ばかり  
楽しんじゃったからねっ  
桐敷さんにも満足して  
ほしいと思ひまして

ビクッ

は……

しゅん

しゅん



あっ

はっ

あっ

ぬるるる……

俺、手マンめっちゃ  
うまいんですよ

しっかりイカせて  
あげらんでっか  
イったらちゃんど  
報告して下さいよっ

ビク

ビク

あっ

はっ



俺、桐敷さんのGスポ攻めるの夢に見るほどしたかったんですよ

ひっ

はっ  
はっ  
はっ

ひっ

ひっ

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ

ぬっ  
ぬっ  
ぬっ



このザラザラした所めっちゃ気持ち良いでしょう

あっ

はっ

あっ

はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ



も、もうやめて……十分感じました……

あっ

あっ

は……

じゅ、十分感じましたから……

は……

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ





桐敷さん楽しんでもらおうと  
もうちよつとイかせてあげる  
つもりだったんだけど...

ドサッ

あ...

は...

あ...

は...

こんなエロいの  
見せられたら  
もう我慢できねえしW

は...

は...



ぬるぬる...

あ...

は...

は...

あ...

ひびひび

は...



それじゃ人妻まんこ  
2回目頂きますっ

あ...

は...

びびび

は...

は...





お、お願い……  
もう許して……

は……

許して……

えーっ  
俺はまだ全然  
イケるんだけどっ

は……

あっ

あっ

は……

ムチャ

ムチャ

ムチャ

またイクッ

イクッ

ムチャ

ムチャムチャ

はいっ今日2回目の  
中出しっっ

あっ

ムチュルルルルル

ムチャムチャ

ムチャムチャ

ムチャムチャ

ムチャムチャ



も、もうすぐ  
子供が……っ  
帰ってくるからっ

帰って……っ  
帰って……っ

はー……  
んんん  
はー……

んんん  
んんん  
んんん



そんな事言っつて  
桐敷さんさっきから  
イキまくってるじゃん

桐敷さんのまんこ  
もつと精子ほし……っさw

ち、違……っ  
ああああああ……っ

ほらっ中出しされて  
またイ……ってるしっつ

んんん  
んんん  
んんん  
はー……  
はー……





はー！  
はー！

桐敷さんは気にせず  
イキまくってれば  
いいんだよ

大丈夫。  
俺が満足しから  
もう来ないから

はー！



ビクッ

んっ

んっ

んっ

んっ  
んっ



いほ  
ケら  
っ

はあっ

あっ

あれ？桐敷さんのまんこ  
また締まって来たじゃん  
本当Gスポ弱すぎw

イケっ

はあっ

んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



あつ

はあ

はあ

はあ

お  
き  
ん

ああ  
あつ

はあ

はあ

びる

びる

びる

びる

びる



いやー桐敷さんのまんこ  
最高に気持ち良かったあ

あ……

あ……あ……

これだけ桐敷さんに射精させて  
もらって悪いんだけど……  
まだまだ満足できなかったわW

は……

は……

は……

は……

は……

は……

は……

それじゃ桐敷さん  
また明日ねっ

そ、そ、  
そんな……

は……

は……

は……

は……

大丈夫っ  
俺が満足したら  
もう来ないからっ

SNSで

裏垢特定した人妻を

ハメまくった話。

END































あー  
ゆる...

あー

あー

は...

は...

あー

は...

あー

あー

あー

















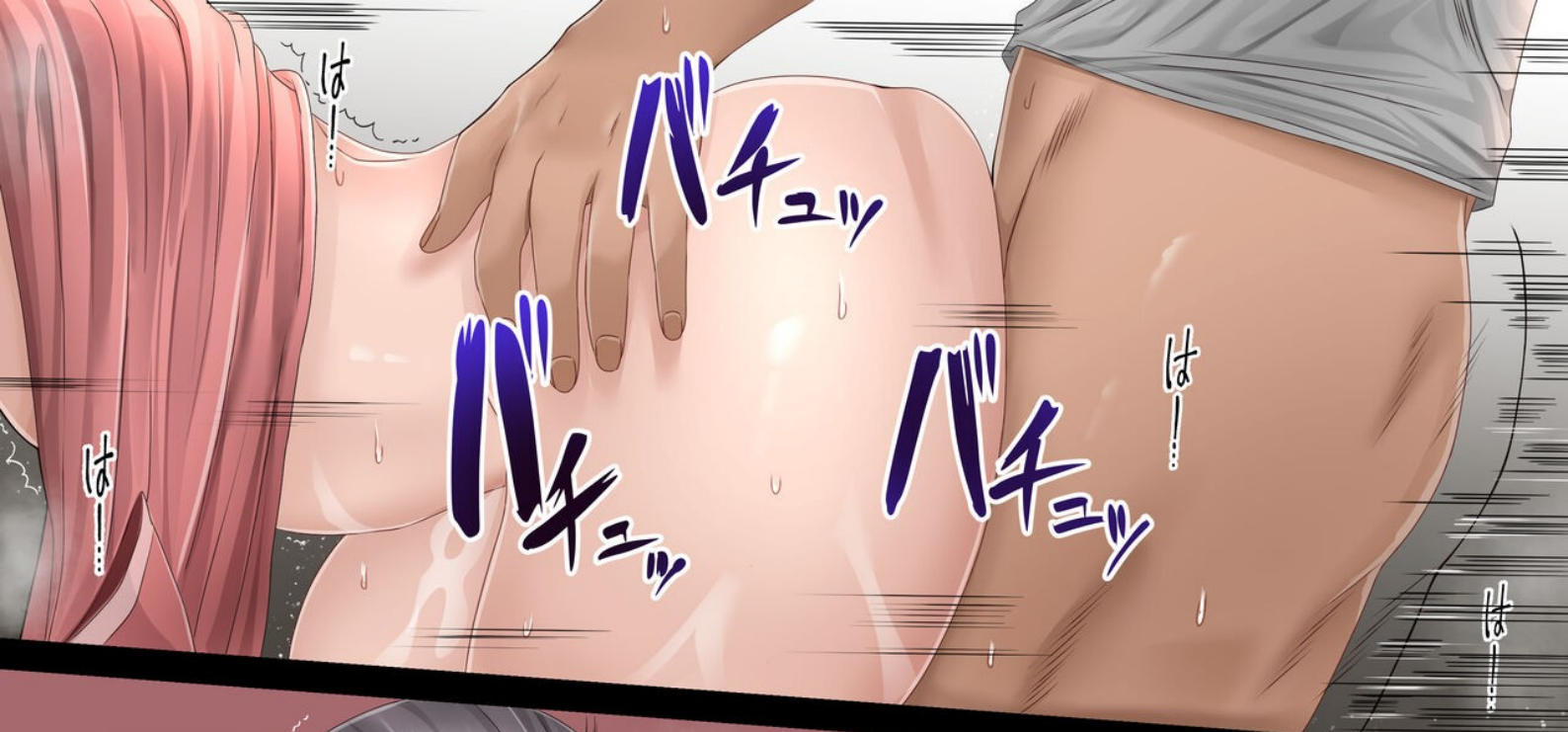






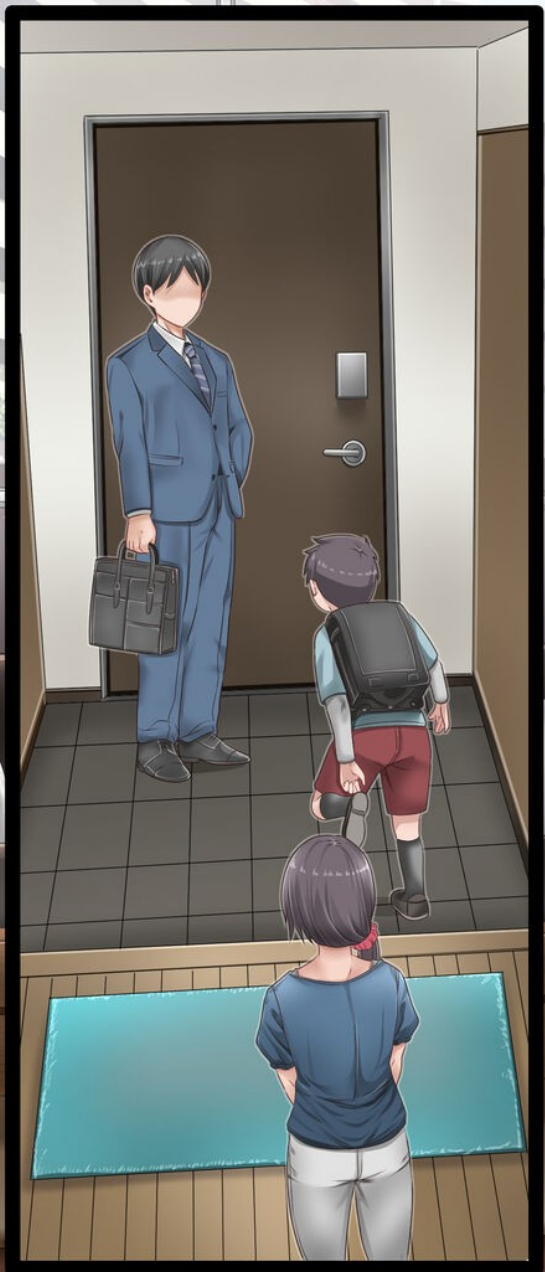


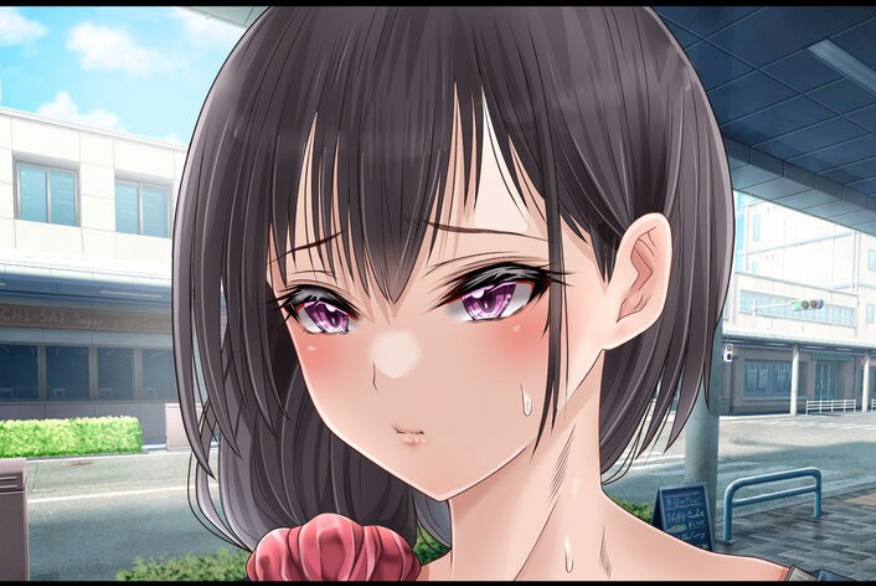


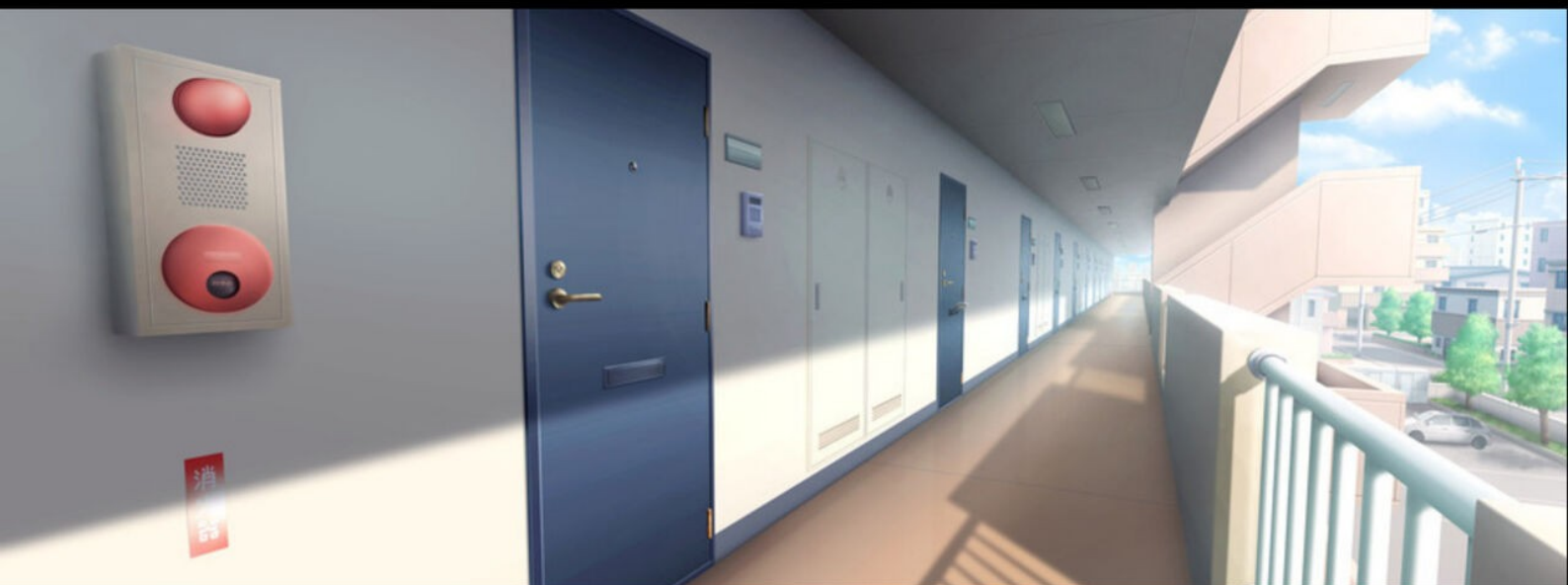














ひっ

ビクッ

ぬちゃ

あつ

よ、余計な……お世話ですっ

ぬちゃ

は……



はっ

ビクッ



あつ

ビクッ

ど、どうして……私のあそこは……いじるんですか……

はっ

いやあこの前は俺ばかり楽しんじゃったからねっ 桐敷さんにも満足してほしいと思ひまして

ビクッ

は……



あつ

あつ

あつ

ぬるるる……

俺、手マンめっちゃうまいんですよ

しっかりイカせてあげらんでイって報告して下さいよっ

ビクッ

あつ

はっ













はっ

はっ

ぐわ

はっ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわぐわ

ぐわぐわ

ぐわぐわぐわぐわ

ぐわぐわ

ぐわぐわ









はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



